

第 130 回かわさき市民放送番組審議会議事録

1 開催年月日 平成 31 年 1 月 21 日

2 開催場所 かわさき市民放送株式会社 5 階 会議室

3 委員の出席

委員の総数 8 名

出席委員数 7 名

出席委員 大野かよ、遠藤勝太郎、小泉幸洋、三瓶清美、鈴木穆、
中村徳能、武藤聡宏

欠席委員 田邊静江

会社側出席者 (事務局) 橋本夏代代表取締役社長、林敏明統括部長、畠山裕子

4 議 題

1) 議事

イ) 番組試聴

ロ) 意見交換

2) その他 次回の審議会日程について

5 議 事

イ) 番組試聴について

特別番組「中原区の魅力をラジオで発表しよう！！」 (20 分程度)

放送日：1 月 4 日 (金) 10:30～11:30

ロ) 審議内容 (意見交換・質疑応答について)

内容について委員からは、次のような意見が出された。

◎小学生とは思えない程テキパキと上手に話ができている、中学生の職場体験で出演している中学生と変わらない。小学生の出演番組があっても良いと思う。

◎自分の意見をしっかり述べられている。堂々と話ができている。どのように出演者を決めたのか？

○区報に募集の告知掲載と、区役所から区内の校長会に声掛けをして小学 4～5 年生にチラシ配布をし、自主的に出演したいと言ってきた生徒の中から選抜させていただきました。

◎子どもが出演だと脱線もありそうだが、アナウンサーの聴き方や掘り下げ方が上手だったので、聞きやすかったし、良かった。

◎武蔵小杉周辺のビルが建ち並ぶ中でも、自然があって生物がいっぱいいると子ども視点で話しているのが印象的だった。アナウンサーが場所の説明を求めた所は

- 「仕事とはこういうものだよ」と指導しているようで、それも良かった。
- ◎放送を聞いていて、行ってみたいなど思うので、目印や歩いて何分などの場所の説明があるとより良かった。学校が同じなのか、エリアが近い話が多かったので、広い範囲で募集しても良かったのでは。
 - ◎子ども視点の話が新鮮で良かった。川や虫がいて、セミや小魚が取れるという自然が身近にあり、大事にしたいという思いを感じた。
 - 応募数が多くなく、一つの小学校からの生徒が多くなってしまいました。エリアが同じでしたが、番組後半には地元の商店街が良いという話や、等々力緑地やサッカー場の話なども出てきておりました。（事務局）
- ◎武蔵小杉の高層化について、子ども達がどう見ているのか疑問に思っていた。希望があるとしたら何だろうと子どもに聞いたかった。今回の放送で意見が聞けて非常に参考になった。このような子ども達の意見を聞く番組は非常に素晴らしいので、今後も続けて頂きたい。
- ◎かわさき FM として、小中学生が出演する番組はあるのか？
- 川崎市内の中学2年生を対象にした職場体験に参加しており、年間通して中学生がラジオに出演しております。また、地域企業の作文コンクール受賞者が自分の作文を読むという特別番組も年1回放送しております。今回の放送はなかはらメディアネットワークの初めての試みでした。
- また、今回の意見を参考に、より良い番組作りに努めます。（事務局）

社 名	かわさき市民放送株式会社
-----	--------------